

SENKEN

# 織研新聞

2021年  
(令和3年)  
4月20日  
火曜日

織研新聞社

発行所  
〒103-0015 東京都中央区  
日本橋箱崎町31-4

編集局 03・3664・2341  
業務局 03・3639・8030  
大阪支社 06・7639・0570  
名古屋支社 052・231・2600  
九州支局 092・761・6131  
上海支局 +86・(0)21・6249・8300

PERSON'S  
45th  
ANNIVERSARY  
https://persons.com



ご購入は ☎ 0120-559801

きょうの紙面

西陣織の技でスマートTX  
総合 ソゾテクノロジーズなど ②

新コミュニティ施設開設  
企業・総合 玉川高島屋SCに ③

シャリ感のレディス新素材  
素材・製造・商社 ユニチカトレーディング ④

TGCで新しいCG表現  
流通 イマジカイクス ⑤

物作りにこだわった日常着  
商品 ヤギがメンズ新ブランド ⑨

企画・特集

「教えて!」VRって何? ⑦

最近、よく見聞きするVR (仮想現実) とは——本誌社長が体験したその魅力と

# リーバイス501の廃棄デニムを再生



①大量生産・廃棄に疑問を感じていたという山澤社長(左から2人目)と百貨店のバイヤー、②経年変化を生かした人気モデル

廃棄されるはずだったデニムを生かし、ファッションの楽しさを共有しませんかーアイロンプレスのヤマサワプレス(東京、山澤亮治社長)は、自社設備と人材を生かした「リーバイス501再生プロジェクト」で、共感の輪を広げている。今春、三越伊勢丹が取引先や東京ブランドなどを誘って参画し、小売りへの一歩を踏み出した。(須田渉美)

## ヤマサワプレス

4月16日には、倉庫と工場の見学会を行い、倉庫でロサンゼルスから輸入した約20トンのユーズドデニムの塊を開梱した。フルボディーだけでなく、カットしたレングス部分もあり、一塊で約700着、合計4万着近くになるといふ。これらを状態ごとに選別し、独自に開発した土にかえる洗剤で漬け込んで洗い、汚れを落とすアイロンをかける。きれいになった生地を、縫ったり、組み合わせたりの自社ブランド「ワンオナーファイブ・デニムトウキョウ」で様々なアイテムを作り、工場に併設した直営店で販売



している。プロジェクトを立ち上げたのは19年夏。本業ではアイロンプレスから洗濯代行、検品、検針、補修など裏方の工程を全て行う。当時、大手企業向けに物流までを請け負う事業が破綻となり、経営の軌道修正を迫られるなかで、ロサンゼルス

## 三越伊勢丹やデザイナーなど参画

古着市場で世界から集まる「リーバイス」501の古着の山を目にした。劣化が激しくて売れないものは、廃棄されてしまう。山澤社長は「これをなんとかしたい。ヒントはデニムが好きなき者同士で、自分たちができること、プロジェクトに共感した三越伊勢丹では、取引先やデザイナーにも参画してもらい、業界の垣根を超えて未来のファッションを皆で考えていけるスキームを構築していく考えだ。来春には店頭販売を予定する。見学会には、フロアや店舗を問わず、多くの従業員が参加した。

楽しいことにチャンジしたい」と、仲間を声をかけて作り出すチームを組んだ。事業化に向けてリーバイスの許可も得た。

デザインの中心は、かつて渋谷区で作った「ジョンズクロージング」のオーナー、河原拓也さんと、地元東京・足立区で30年近く古着屋を運営していた金子邦夫さん。目利きを強みに「この形を生かせる」といったアイテームができる」と、経年変化の跡をデザインに生かす。30近くのモデルを揃えている。ベースの形は同じでも、時代や着用された環境の異なる501が融合され、一点の顔は異なるところが魅力だ。ポトムで1万2000〜2万円台。既製品に限らず、カスタマイズも受けている。

今後は、きれいに洗った501ファブリックの卸売りを始める。状態によって価格は若干異なり、フルボディーで1本1600円から、筒状のレッグパツで50シート3万円から。ポケットやパツチ、切り取ったウエストバンドやボタンフライなどパツチごとの卸売りも行う。

プロジェクトに共感した三越伊勢丹では、取引先やデザイナーにも参画してもらい、業界の垣根を超えて未来のファッションを皆で考えていけるスキームを構築していく考えだ。来春には店頭販売を予定する。見学会には、フロアや店舗を問わず、多くの従業員が参加した。

## 菌糸体から作る代替レザーで靴

### 22年に発売 アッパー、かかとに採用

アディダスは、キノコを支える根の部分にあたる菌糸体から生まれた新素材「マイロ」をアッパーに使ったコンセプトシューズ「スタンスミスマイロ」を開発した。マイロは、レザーのような見た目と質感を持ちながら、レザーよりも優れた成長効率の再生可能な代替素材。バイオテクノロジー企業、ホルト・スレッドとの共同パートナーシップを通じて開発した。スタンスミスマイロは、22年春夏から販売する。

菌糸体とは、土の中で成長し、糸のように交差する再生可能な繊維状の物質。最先端分野の農業技術を活用し、0・09平方センチメートルの面積から増産を可能にするラボ環境で、菌糸体からマイロは作られ、「成長するのに2週間もかからず、非常に効率的な



最初のモデルは「スタンスミス」を採用

成長プロセスで作られる」といふ。さらにマイロは汎用性が高く、多様な着色や仕上げ加工が可能。アディダスでは同素材を「ゲームチェンジャー」となる最新素材」と見て、「アディダス」を象徴するフットウェアであるスタンスミスで採用、アッパーやかかと部にマイロを使った。ミッドソールは天然素材の

## 3Dモデリスト育成へ

### 豊島「ファッション3DCGアワード」

### 産学連携でプロジェクト

豊島は、ファッションテック専門学校の東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)と、ベルエポック美容専門学校(ベルエポック)と共同で、3D・CGを活用した服作りのコンテンツ「ファッション3DCGアワード」プロジェクトをスタートした。

目的は、アパレル産業のデジタル化を促進すること。CGを活用した服作りのコンテンツ「ファッション3DCGアワード」プロジェクトをスタートした。

企業で独自の利用できる。ポルト・スレッドは同プロジェクトを通じて、マイロ素材の商業化の可能性が立証されることに期待を寄せている。

アディダスはプラスチック廃棄物の削減を掲げ、近年サステイナビリティ(持続可能性)活動を強化している。24年までのバーズンポリエステルの使用量を削減し、20年までの時点で既に50%を超えるリサイクルポリエステルの使用を達成した。アディダスの

20年度織研キッズファッション賞

大賞	選出なし	
ベビー部門	①ファミリア	ファミリア
	②ミキハウス	三起商行
トドラー部門	①ザ・ノース・フェイスキッズ	ゴールドウイン
	②シャーリーテンブル	エムケー
	③クレードスコープ	ナルミヤ・インターナショナル
百貨店	①ボンボネットジュニア	ナルミヤ・インターナショナル
	②ポロ・ラルフローレン	ラルフローレン